

メディアリリース

2018年2月14日

本資料は2月14日にチューリッヒで発表されたメディアリリースの翻訳版です

2017年通期の報告ベース税引前利益は前年比40億CHF増の18億CHFとなりました。

2017年通期の調整後ベース*税引前利益は前年比349%増の28億CHFとなりました。

米国の税制改革を受けて、2017年通期の株主帰属純損失は9億8,300万CHFとなりました。当グループに対する税率の低下が2019年に有形自己資本利益率に与える付加的な恩恵は少なくとも100bpと推定されます¹。米国の税制改革による事業の押し上げ効果が期待されます。

2017年通期においてプラスの営業レバレッジを推進し続け、調整後ベース*純収益は前年比5%増、調整後ベース*営業費用合計は同6%減となりました。

2017年通期の費用削減目標を達成し、調整後ベース*営業費用基盤は実為替レート²ベースで177億CHF、2015年の恒常為替レート*ベースでは180億CHFとなりました。過去2年間の正味費用削減額の合計は、恒常為替レート*ベースで32億CHF(実為替レート²ベースでは36億CHF)でした。

ウェルス・マネジメント事業の2017年通期の新規純資産³は前年比27%増の372億CHF、運用資産³は過去最高で同13%増の7,720億CHFとなりました。2017年第4四半期の新規純資産³は7億CHFのマイナスだった前年同期に対して47億CHF増の40億CHFとなりました。

インベストメント・バンキング & キャピタル・マーケッツ部門(IBCM)⁴の2017年通期の調整後ベース*税引前利益は前年比41%増となりました。全ての主要事業にわたり顧客内シェアが上昇しました。

グローバル・マーケッツ部門(GM)⁴の2017年通期の調整後ベース*純収益は前年比5%増⁵、調整後ベース*営業費用合計は同5%減となった結果、調整後ベース*税引前利益は同118%増となりました。

ストラテジック・リゾリユーション・ユニット(SRU)の段階的縮小は2018年末の完了に向けて予定通り進捗しています。2017年通期の調整後ベース*営業費用合計は前年比43%減、リスク加重資産(RWA)⁶は同43%減、レバレッジ・エクスポージャーは同41%減となりました。

ルックスルー・ベースのティア1レバレッジ比率は5.2%、ルックスルー・ベースのCET1比率は、2017年下半期のオペレーショナル・リスクRWAの増加分⁷から約45bpを差引いて2017年末時点で12.8%でした。

市場依存的な活動で2018年に向けて堅調なスタートを切り、年初6週間において推定純収益は前年比でグローバル・マーケッツ部門⁵では10%超⁸、アジア太平洋部門(APAC)では15%超⁸増加しました。

ハイライト

- 当グループの2017年通期の調整後ベース*純収益は前年比5%増の209億CHFでした(2017年第4四半期:52億CHF)。
- 2017年通期の調整後ベース*営業費用基盤は実為替レート²ベースで前年比7%減の177億CHFでした(2017年第4四半期:45億CHF)。
- 当グループの報告ベース税引前損益は、2016年通期が税引前損失23億CHFであったのに対し、2017年通期は税引前利益18億CHFでした(2017年第4四半期:税引前利益1億4,100万CHF)。
- 当グループの2017年通期の調整後ベース*税引前利益は前年比349%増の28億CHFでした(2017年第4四半期:5億6,900万CHF)。
- 2017年通期の株主帰属純損失は9億8,300万CHFでしたが、これには、主に米国の税制改革に起因する繰延税金の再評価に関連する27億4,100万CHFの法人税等費用が含まれています(2017年第4四半期:株主帰属純損失21億2,600万CHF)。
- 米国財務省は税源浸食・租税回避防止税(BEAT)の適用を明確化するためのガイダンスを公表すると予想されています。BEAT代替税制に関する現在の分析によると、当グループは2018年にこの税制の対象にならない可能性の方が高いと見込まれます。

脚注

* 調整後業績は非GAAPの財務指標です。最も直接的に比較可能な米国GAAP財務指標に対する調整後業績の差異調整については、2月14日に発表された英語版メディアリリースのAppendixをご参照下さい。

1. 当メディアリリースの日付時点における入手可能な情報、ならびに経営陣の考え、予想および意見に基づいています。2019年通期の実際の影響は異なる可能性があります。
2. 為替レートの調整を加えない調整後ベース*営業費用基盤を使用して測定しています(為替の影響は2017年通期が3億2,600万CHF、2017年第4四半期が4,900万CHFでした)。
3. スイス・ユニバーサル・バンク部門(SUB)のプライベート・クライアント事業(PC)、国際・ウェルス・マネジメント部門(IWM)のプライベート・バンキング事業(PB)およびAPACのウェルス・マネジメント&コネクテッド(WM&C)事業内のPBの新規純資産と運用資産の合計を指します。
4. USDベースで測定しています。
5. システマティック・マーケット・メイキング・グループ(SMG)の純収益(2016年第4四半期は1,200万USD、2017年第3四半期は200万USD、2017年第4四半期はマイナス600万USD、2016年は1億7,200万USD、2017年はマイナス1,600万USD)を適宜除いています。
6. オペレーショナル・リスク(2016年は200億CHF、2017年は200億CHF)を除いています。
7. 損失履歴の更新、および主に当グループのRMBSに係る和解についてのオペレーショナル・リスクに関連するリスク加重資産の測定手法の変更を反映して、オペレーショナル・リスクRWAが2017年第3四半期と2017年第4四半期にそれぞれ52億CHFと38億CHF増加しています。
8. 2017年2月8日と比較した2018年2月8日時点の数値です。